

# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

7月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

rinriUSA711@gmail.com

2018年(平成30年) 7月1日(日)

NO. 203

## 文化講演会

六月三日(日) 午後一時三十分、本部より吉川和儀普及開発部部長を講師にお招きし、「ともに生きる」をテーマにホリデーイン・トーレンスで開催しました。

進行は草野律子さん。南加日系商工会議所会頭、山崎ジエフ氏に來賓の挨拶を頂きました。最初に「しきなみ子供短歌コンクール」の表彰式を行ないました。

次いで講演に入り、吉川部長の紹介で、ミリオン佳子さんが「100通のポストカード」と題して実践体験発表。

離れ暮らす息子へ毎日葉書を出す実践を始めたところ、身体の中から愛が溢れ出る体験をし、『葉』の(愛のパン)は、いくら分けてもなくなる

ことがない。分ければ分けるほど、かさが増えて、余りができる」が理解できた、また息子から始めてメールが来たという喜びを話しました。

吉川部長は、身近な生活法則として日常に生かす倫理をレジュメと体験実例で分かりやすく解説。「私たちは人、動物、植物、自然などともに生きているのだからすべてものに感謝することが大切

である」と諭されました。また「目に見えないところで、すべてがつながっている」と強調され、子供たちの素直な短歌を引用して「倫理は日常のあたりまえの中にある」と力説されました。

参加者はひと言も聞き漏らさぬようにと聞き入っており、講演の後には、参加者との交流や文化部の展示作品鑑賞、秋津書道の実演と、和やかに講演会を終えました。

(参加者 百十五名)

## 子供短歌表彰式

六月三日に行われた倫理文化講演会で、「第十三回しきなみ子供短歌コンクール」に入賞した三人の小学生の表彰式を行ないました。

総応募数六七、三五〇名。しきなみ子供短歌賞・文部科学大臣賞二名、特選二〇名、入選三五九名、佳作五六一名。アメリカからは三五名の応募があり三名が入選でした。

日本語学園協同システム  
羅府中央学園 二年

クロース ジョナ

おばあちゃんんでんわではなすといつもきくちやんとげんきでやっているかと

日本語学園協同システム  
羅府中央学園 四年

弓削 カナ

きくといいなにわからとったロズマリーいくこばあちゃんのアルツハイマーに

東サンゲールブルーバレー日本語学園 六年

リー デイナ

はじめてのきものできよう都を歩いたよ日本の子のようにまい日きたい

吉川部長が表彰状を手渡ししました。緊張の中にも尾崎よしみさんのやさしい誘導で写真撮影まで式は順調に終わりました。

お子さんの両親、祖父母の皆さんが出席され、今回の入選が日本語を学ぶ励みになったと話されました。



秋津書道会エコバッグ  
秋津書道会は新しい試みとして文化講演会終了後、聴衆の皆

さんが参加する「エコバッグに字を書く」という実演を行ないました。参加者にはエプロンをつけてもらい、滝川歌子書道講師の下、井上、小山、香山、小倉その他の若い会員が会場の床が汚れないように布を敷いたり、参加者が書き上げたバッグの字の墨をドライヤーで乾かしたりと、細かい気配りで働いて下さいました。

準備したバッグは全部終了。思いがけず、自分の字のエコバッグをもらって、参加者は笑顔満面でした。お手伝いの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



# 莫能定

# 其旨蓋

南カリフォルニア

渡辺せつ子

4席 渡辺せつ子

余白が美しくすっきりした作品です。

